

保育学部の教育理念と教育課程の特徴

1. 保育学部の教育理念

保育学部の教育理念は<参加><共同><創造>です。内容は以下の通りです。学生のみなさんはしっかりと自らの課題として受けとめて学んでほしいと思います。

【保育学部の基本理念】

教育・保育学に関する体系的な教育・研究を通して、学生の社会参加と自己実現を支援し、もって人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人を養成するとともに、社会の要請に応えつつ教育・保育の社会的な発展に貢献する。

【3つの目標と9つの課題】

(1) 男女共同参画社会の実現という現代社会の課題に応え、学生の自己実現を支援し、能動的で自己開発的な学修主体として社会参加の意識の高い能力をもった学生を形成する。<参加>

- a、授業への積極的な参加を促し、自主的・主体的で、自己開発的な学修主体として学生を形成する。
- b、学部の責任ある構成員として学部づくりへの積極的な参加を促し、その行動と経験を通して社会参加の意識と能力を醸成する。
- c、ボランティア活動、実習、インターンシップ、演習等の授業および授業外の社会参加・体験学修の豊かな機会を保障し、責任ある社会の構成員としての意識と能力を醸成する。

(2) 個人としての責任感と同時に共同の責任感をもって、問題解決と課題実現のために豊かな研究と活動を共同で展開しうる意識と能力をもった学生を形成する。<共同>

- a、サークル活動等学生の自主的諸活動を積極的に促進し、相互に協力して問題解決と課題実現のために活動する機会を豊かに実現する。
- b、ゼミなどの活動を通して、学生が個人としてまた相互に協力し、かつ学生と教員とが目標を共有して、特定のテーマについて研究し、様々な課題に則して活動する経験を豊かに保障する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、責任ある活動のために組織されている協力関係を体験的に学び、そのような協力関係を取り結ぶ責任ある社会の構成員としての意識や能力を醸成する。

(3) 子どもの発達保障や子どもの最善の利益を実現しうる社会の形成等の責任ある社会的活動に従事しうる想像力と創造力を豊かにもった学生を形成する。<創造>

- a、時代の要請に応え教育・保育学の体系として構造化された保育学部の教育課程を系統的に学ぶことを通して、学問的な想像力を豊かに涵養し、教育・保育学の創造的な学修主体としての学生の自己確立を支援する。
- b、学生にとって学修と生活の基盤であり環境である保育学部を「私の大学」としてのアイデンティティを持ちうるように、学生一人ひとりが責任ある構成員としての意識をもって学部を創造する活動を積極的に展開し体験する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、教育・保育や子育て支援等の仕事や活動において求められる課題を理解し解決するために必要な想像力と創造力を体験的に学び、専門職としての創造的な力量を豊かに形成する。

保育学部は、保育学の体系的な教育・研究と時代の要請に応えうる高度の専門性を具えた有為な保育専門職養成を行う学部として、2002年4月に全国ではじめて設置された学部です。

保育学部は、2007年度から時代の要請を受けとめて就学前の教育・保育と小学校教育との連携・接続という課題に、専門職養成の観点から応えるために小学校教員養成の課程を新たに置いて、「時代の要請に応えうる高度の専門性を具えた有為な教育・保育専門職養成を行う学部」として刷新・拡充してきました。

2015年度の子ども子育て支援新制度が施行を受けて、小学校との円滑な接続を重要な課題とする幼保連携型認定こども園の拡充が今後は期待されます。5年間の移行期間を経て、就学前の幼児期の教育・保育制度は、その専門職養成の在り方が大きく変容していくことが予想されます。

そのような時代の課題を、学生も教職員とともにしっかりと受け止め、開学以来の弛まぬ教育的努力を継承・発展させ、共同して、豊かな「**学びの共同体**」としての保育学部を創造していくことは、まさに、「保育学部の教育理念」の実践といえます。

2、保育学部の教育課程の特徴

保育学部は学部の基本理念である「学生の社会参加と自己実現を支援し、もって人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人を養成する」ことをめざし、とりわけ「**時代の要請に応えうる高度の専門性を具えた有為な教育・保育専門職養成を行う学部**」として学生が体系的・系統的な学修を実現できるよう教育課程を編成しています。

2016年度から大学共通の教養教育を含む学部横断的な共通教育課程が導入され、新しい教育課程に移行しますが、共通教育と専門教育の全体を通して、学生が保育学部の教育理念を体現できる様に教育課程を編成しています。

(1)教育課程の特色

保育学部保育学科の教育課程の特色は、教育・保育の課題を乳幼児期から児童期の子どもの発達理解を基礎に、子どもの発達環境の諸側面を含めて総合的・構造的に理解し、教育・保育専門職としての能力（知識・技能）の基礎を多様な体験を含めて学び、総合的な力（思考力・判断力・表現力）として発揮できるように、探求することにあります。

- ① 心的・身体的・社会・文化的さらには精神的存在としての人間発達について、生涯発達の観点から広く理解するとともに、その基礎的段階である乳幼児期からの児童期の発達に焦点をあてて深く探求します。すべての子どもたちの「包容」（障害者の権利に関する条約で提起されている教育理念）が指導理念とされている今日、障害や環境その他の事由により発達上の困難を抱えている児童についても理解できるようにします。
- ② 対象としての乳幼児期から児童（発達上の困難を抱えている児童を含む）期の発達環境に関わる諸課題を次のような領域に則して総合的に探求します。
 - a) 制度
学校・家庭さらには生涯にわたる人間形成に関わる領域
 - b) 家庭・地域
子育て支援等家族を支える地域の諸制度・諸活動に関わる領域
 - c) 福祉
児童、高齢者、障害者等の社会福祉・社会保障に関わる領域
- ③ 子ども・家庭を総合的・系統的に支援しうる教育・保育専門職に求められる教育・保育の原理・内容・方法、さらには実践を支える専門的な知識・技能等に関して深く、体系的に探求します。
- ④ 乳幼児期から児童期の発達環境に関わる地域や職場（保育所等の保育専門機関、児童福祉施設、企業等）の実践活動や諸制度を体験的に学修し、さらには総合的に研究する多様な機会を提供します。

3、教育課程編成の基本的考え方（保育学部のカリキュラムポリシー）

保育学部は、開学以来の教育課程編成の考えを検証し、2016年度からの新しい教育課程を踏まえて、保育学部のカリキュラムポリシーを以下の通りに改訂しました。

保育学部のカリキュラムポリシー

決定 2011年2月22日
改正：2016年3月 9日

保育学部の教育課程は、教育・保育の課題を乳幼児期から児童期の子どもの発達理解と発達環境の諸側面の課題をふまえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探求できるように編成するとともに、小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、保育士資格の取得に必要な科目を希望するすべての学生が

履修できるように編成しています。

保育学部は1年から4年までゼミと実習を系統的に配置しています。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習Ⅰ、3年：総合演習Ⅱ、4年：卒業研究）は、学生の個別指導の基礎単位として保育学部のチュートリアルシステムの基盤であるとともに、保育学部教育への学生参加の基盤でもあります。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、児童福祉施設、小学校等で段階的に実施されています。

学生は、保育学部の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手として社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっています。

教育課程編成の基本構造

○保育学部の教育課程は、全体を【共通教育科目】と【専門教育科目】に区分し、さらに専門教育科目を関連教育科目と専攻教育科目とに区分して編成しています。

○保育学部の教育課程は、全体を通して、幼稚園教諭1種免許・小学校教諭1種免許・保育士資格等の教育・保育専門職としての資格・免許を取得しうる教育課程としても編成しています。

学生は、取得を希望する免許・資格に係わる授業科目を系統的に履修することにより、教育・保育専門職としての社会的、職業的自立の基礎的要件を修得することができます。

【共通教育科目】

「教養科目（桜花学）」…「自分を知る」「人間を知る」「社会を知る」「世界を知る」「自然を知る」の5領域の科目で構成しています。学生は、「桜花学」の学修を通して、人間存在および人間の生み出した文化を広く理解し、変化発展しつつある現代社会の課題を女性の視点をふまえて理解しうる基礎的・総合的視野を養い、「心豊かで、気品に富み、洗練された近代女性」としての「信念ある女性」の基礎を培うことが期待されます。

「基礎科目」…「健康・スポーツ関係」「数量的スキル関係」「情報リテラシー関係」「社会貢献・職業体験関係」「グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係」「総合」の科目で構成しています。学生は、「基礎科目」群の学修を通して、心身ともに健康で自主的・総合的に思考し判断しうる、数的リテラシー・情報リテラシー・外国語運用能力・表現能力・問題発見・解決能力をそなえた人材としての社会的基礎力を育成し、「信念ある女性」としての基礎を培うことが期待されます。

「エクステンション科目」… 特定の領域に関する学びの幅を広げる科目で、「他学部履修科目」「愛知学長懇話会科目」「大学間連携等単位互換協定に基づく科目」等です。

【専門教育科目】

保育学部としての専門教育科目を2つの柱で構成しています。

○関連教育科目…教育・保育に関連する知識を総合的に修得し、広い視野から教育・保育の課題を探求しうる能力を培う科目

○専攻教育科目…教育・保育の専門的な知識・技能、能力の養成に関わる理論的、実践的な科目を相互に密接な連関をもたせて構造的に配置している科目

○関連教育科目

発達関係科目…人間の発達について理解するための科目（乳幼児期から児童期の発達を軸にしなが、健常児のみならず障害児等さまざまな問題やハンディキャップを抱える児童を含めその心身の発達を、生涯にわたる発達をも見通して理解するための科目）

関係科目発達環境…人間の発達環境（とりわけ乳幼児期から児童期の発達環境）に関わる諸課題を「制度」「家庭・地域」「福祉」の3分野から総合的に理解するための科目

○専攻教育科目

教育・保育の基礎および専門職論に関する科目

教育・保育の内容・方法に関する科目

教育・保育の実践主体の専門的技術・技能の学修に関する科目

教育・保育に関わる体験的学修に関する科目

教育・保育に関する総合的な学修・研究に関する科目

4、保育学部で授与される学位と学位授与の方針（保育学部のディプロマポリシー）

保育学部は所定の単位を修得し、卒業するすべての学生に、学士（保育学）の学位を授与します。保育学部の学位授与の方針（ディプロマポリシー）は、以下に示す通りですが、学生・教職員がその方針を共有し、共同の努力をすることは、「豊かな学びの共同体」としての保育学部を創造していく上から重要なことと考えます。

保育学部のディプロマポリシーは、保育学部での学びの到達目標を示したものです。学生のみなさんは、保育学部の4年間でどのような力を獲得すべきかをディプロマポリシーを通して理解し、目的意識を持って保育学部の学修を進めることが可能となります。

保育学部のディプロマポリシーを基礎に、保育学部における自らの学びを常に自己点検・評価し、目的意識をもって、未来の教育・保育専門職としての豊かな自己開発を進めましょう。

桜花学園大学保育学部のディプロマポリシー

決定：2011年2月22日

改正：2016年3月9日

保育学部の教育理念は「参加・共同・創造」であり、学生は、保育学部の教育理念を実現し、「豊かな学びの共同体」としての保育学部を創造する責任ある構成員であります。

学生は「学習権」を享受する責任ある主体であり、教育・保育学に関する体系的な教育・研究をもって組織されている保育学部の学びへの能動的な参加を通して、人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人としての社会的な自己実現を達成することが求められ、支援されます。

保育学部は、以上の教育理念・目標に照らして、所定の科目を履修し124単位以上を修得した学生に、「**学士（保育学）**」の学位を授与します。総合的な人間学としての教育・保育学は実践の学でもあるので、学生は理論と実践を統一した学びが期待されます。

保育学部の教育への能動的な参加を通して学生に求められる学びの課題（学生の到達目標）は以下のとおりです。

1 自主的・主体的に学び活動する力(高い学修意欲、永続的な自己開発意欲の育成)

具体的な目標

- (1) 授業（実習・インターンシップ等を含む）への積極的な参加
- (2) サークル・委員会・ボランティア等の授業外の活動への積極的な参加
- (3) 学内外の様々な社会参加・体験学修への積極的な参加

2 他者と交流・協力し、学びあう力(豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼されうる社会的モラルの育成)

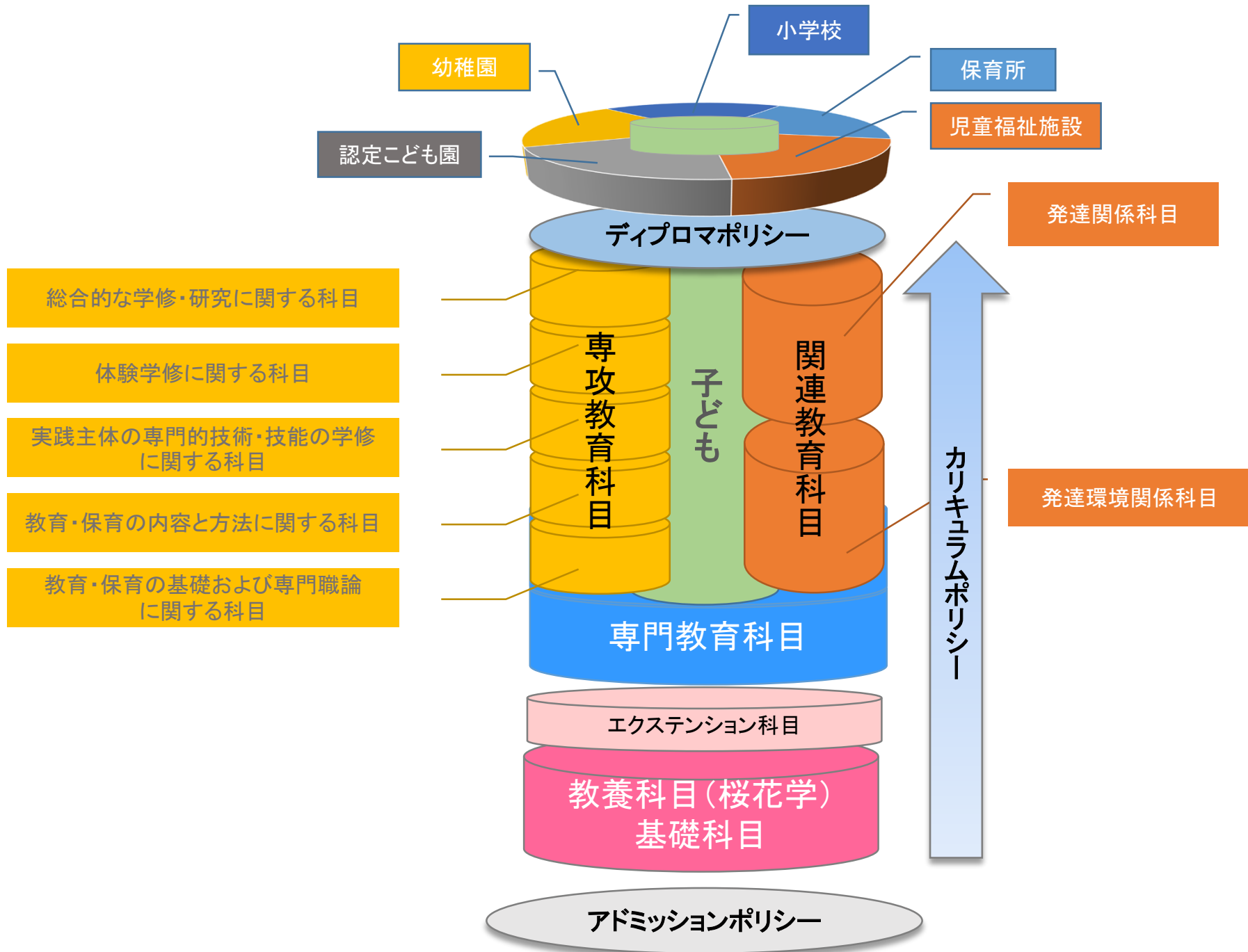
具体的な目標

- (1) 現代社会の求めるコミュニケーション能力を支える知識・技術の修得
- (2) ゼミ・サークル・委員会・ボランティア等での責任ある役割の遂行
- (3) 豊かな人間性と社会的モラルに基礎づけられた、ことば・態度・行動による表現

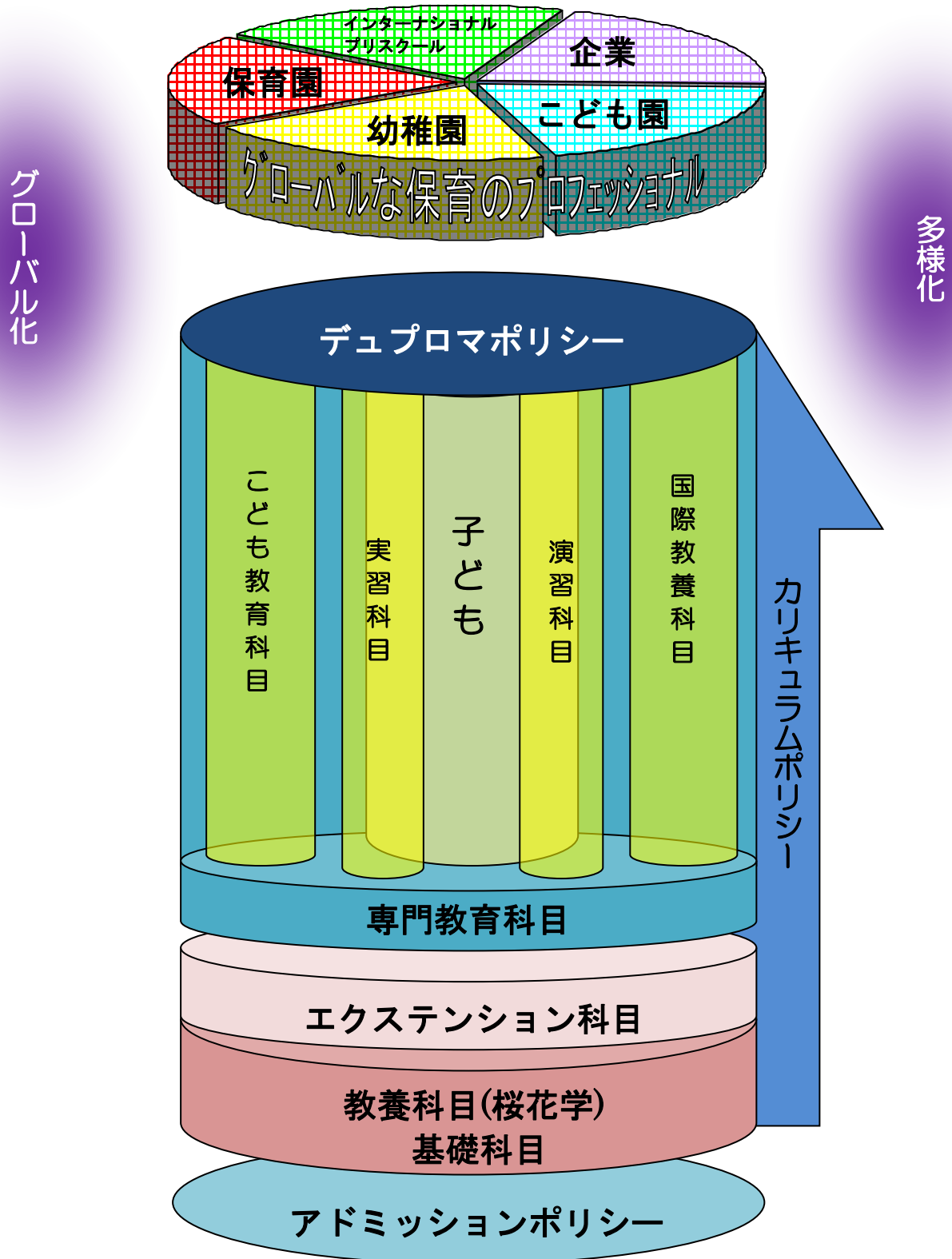
3 課題を発見・理解し解決しうる力(豊かな教養、専門的な知識・技能、思考力・判断力の育成)

具体的な目標

- (1) 卒業研究を含め、卒業に必要な科目を履修し、全体として卒業要件の124単位以上の修得
- (2) 教育・保育専門職として希望する免許・資格に関わる科目の履修と必要な単位の修得
- (3) 教育・保育専門職としての実践能力の多面的・多角的な開発



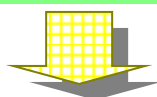
保育学部 国際教養こども学科の概念図



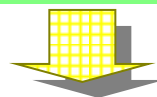
保育学部保育学科のカリキュラム構造(概念図)

共通教育科目

教養科目 【桜花学】	桜花学園の設置目的をふまえ、人間存在および人間の生み出した文化を広く理解し、変化発展しつつある現代社会の課題を女性の視点をふまえて把握しうる基礎的、歴史的視野を養う「信念ある女性」の育成の核とする教養科目群 (各領域から1科目以上を選択、計10単位以上を修得)
基礎科目	現代社会が大学教育に求める、国際化・情報化という今日の社会変化に対応しうる「汎用的能力」を有し、心身ともに健康で、自主的・総合的に思考し判断しうる、数的リテラシー、情報リテラシー、外国語運用能力、表現能力、問題発見・解決能力をそなえた人材の育成に資する科目群 (基礎演習を含めて、各領域から1科目以上を選択、計10単位以上を修得)
エクステンション科目	教養科目(桜花学)と基礎科目を結び、学びの幅を広げさせるための科目群。「エクステンション科目」の学修を通して、特定の領域に関する知識を深める。一定の限度内において、卒業単位として認定する。
履修要件: 必修8単位を含む30単位以上	



専門教育科目



関連教育科目

発達関係科目	人間の発達について理解するための科目群 (必修6単位、選択10単位)
発達環境関係科目	発達環境に関わる 制度 、 家庭・地域 、 福祉 の3系列に区分して、人間の発達環境に関わる諸課題を総合的に理解するための科目群 (必修10単位、選択10単位)

専攻教育科目

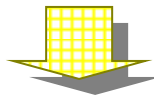
教育・保育の基礎および専門職論	教育・保育の基礎およびその専門職の意義等についての本質的・理論的に教育・研究する科目群 (必修4単位、選択10単位)
教育・保育の内容・方法に関する科目	教育・保育の実践内容・方法を教育・研究する科目群 (必修6単位、選択50単位)
教育・保育の実践主体の専門的技術・技能の学修に関する科目	教育・保育の実践主体の力量(必要な知識・技能)形成に関する科目群 (選択40単位)
教育・保育に関わる体験的学修に関する科目	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学習する科目群 (選択26単位)
教育・保育に関する総合的な学修・研究に関する科目	教育・保育に関する諸課題を地域または個別テーマに即して総合的に学習・研究する科目群 (必修10単位)

履修要件: 必修36単位を含む94単位以上

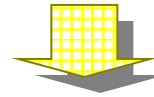
国際教養こども科のカリキュラム構造(概念図)

共通教育科目

教養科目 【桜花学】	桜花学園の設置目的をふまえ、人間存在および人間の生み出した文化を広く理解し、変化発展しつつある現代社会の課題を女性の視点をふまえて把握しうる基礎的、歴史的視野を養う「信念ある女性」の育成の核とする教養科目群 (各領域から1科目以上を選択、計10単位以上を修得)
基礎科目	現代社会が大学教育に求める、国際化・情報化という今日の社会変化に対応しうる「汎用的能力」を有し、心身ともに健康で、自主的・総合的に思考し判断しうる、教的リテラシー、情報リテラシー、外国語運用能力、表現能力、問題発見・解決能力をそなえた人材の育成に資する科目群 (基礎演習を含めて、各領域から1科目以上を選択、計10単位以上を修得)
エクステンション科目	教養科目(桜花学)と基礎科目を結び、学びの幅を広げさせるための科目群。「エクステンション科目」の学修を通して、特定の領域に関する知識を深める。一定の限度内において、卒業単位として認定する。
履修要件: 必修8単位を含む30単位以上	



専門教育科目

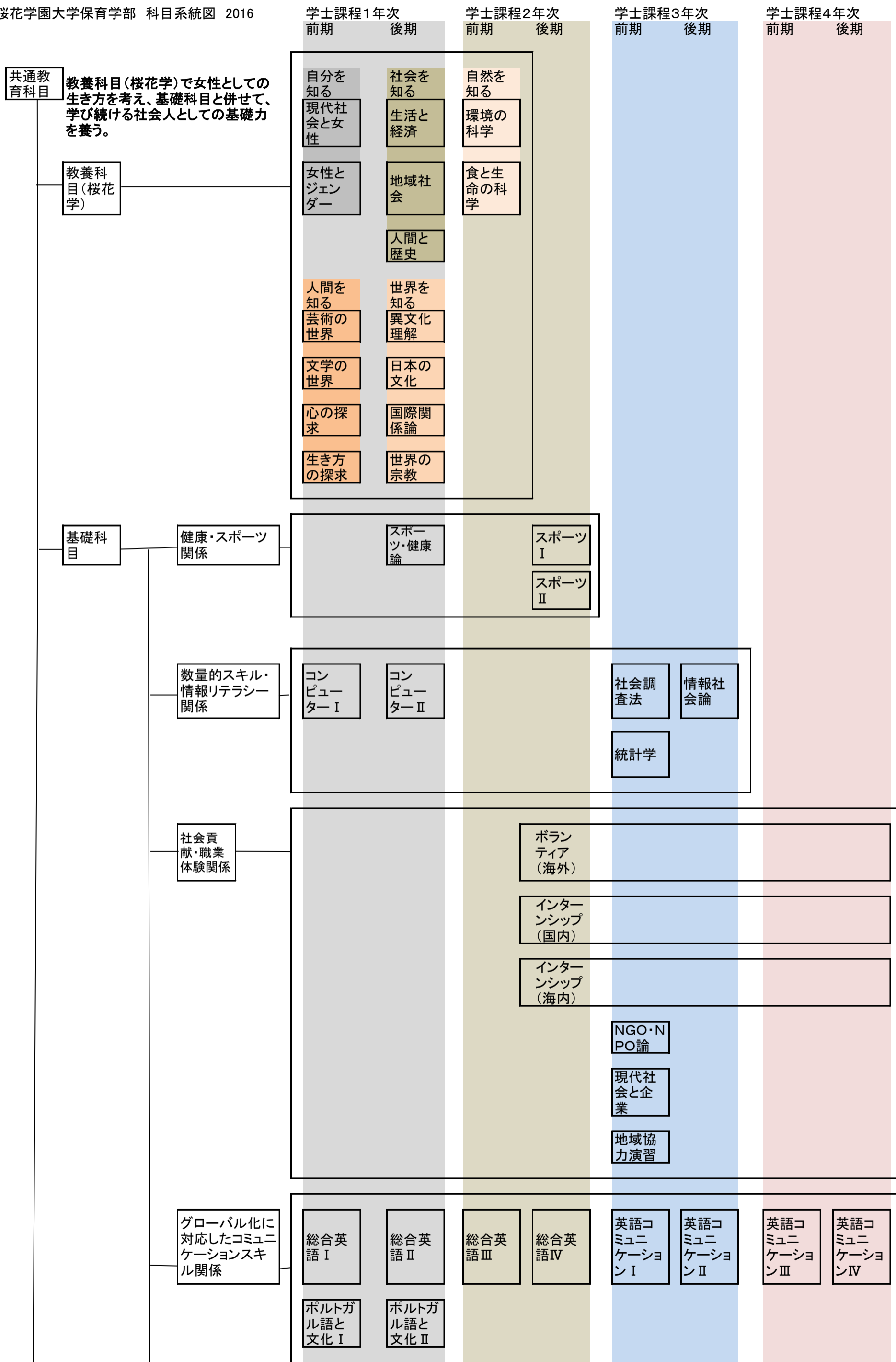


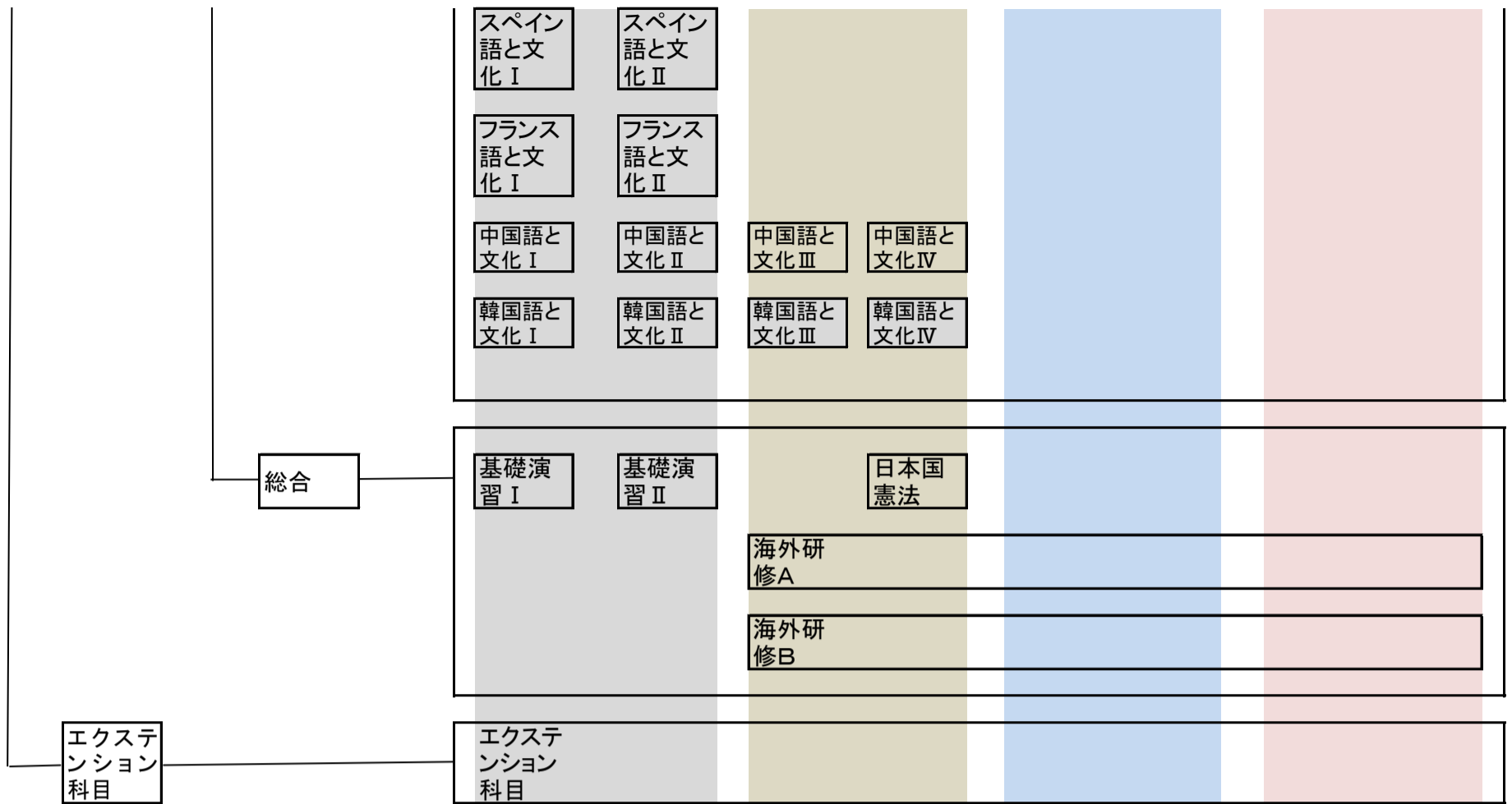
こども教育科目	「教育・保育の内容・方法に関する科目」、「教育・保育の実践主体の専門的技術・技能の学修に関する科目」等で構成されている。教育・保育に関連する知識・技能を総合的に修得し、広い視野から教育・保育の課題を探究しうる能力を培う科目群 (必修20単位、選択60単位)
国際教養科目	「多文化共生関連分野」、「地域研究関連分野」、「言語文化関連分野」、「海外留学関連分野」等で構成されている。教育・保育に関する知識・技能を多角的に修得し、グローバルな視点に立って、教育・保育の課題を探究し、主体的に解決する能力を養う科目群 (必修32単位、選択14単位)
実習科目	「教育・保育に関わる体験的学修に関する科目」で構成されている。教育・保育の専門的知識・技能、能力の養成に関わる実践的な内容を体験的に修得する科目群 (必修3単位、選択24単位)
演習科目	「総合的な学修・研究に関する科目」で構成されている。総合的な学修と位置づけ、課題に対して深く分析し、学修の成果をまとめ、自らの望ましい教育・保育のあり方を探究する科目群 (必修6単位)
履修要件: 必修61単位を含む94単位以上	

保育学部教育課程表(2018年度入学者)

区分	授業科目	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合			1年		2年		3年		4年		
						小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						教養科目 桜花学 基礎科目 総合科目 エクステンション科目											
教養科目	現代社会と女性	2	講義		必修2				○								
	女性とジェンダー	2	講義		必修2			○									
	芸術の世界	2	講義		選択必修2				○								
人間を知る	文学の世界	2	講義		選択必修2				○								
	心の探求	2	講義		選択必修2				○								
	生き方の探求	2	講義		選択必修2				○								
	生活と経済	2	講義		選択必修2					○							
	地域社会	2	講義		選択必修2					○							
社会を知る	人間と歴史	2	講義		選択必修2					○							
	異文化理解	2	講義		選択必修2					○							
	日本の文化	2	講義		選択必修2					○							
	国際関係論	2	講義		選択必修2					○							
世界を知る	世界の宗教	2	講義		選択必修2					○							
	環境の科学	2	講義		必修2						○						
自然を知る	食と生命の科学	2	講義		必修2						○						
	スポーツ健康論	2	講義		選択必修1	○	○	○		○							
健康・スポーツ関係	スポーツ I	1	実技		選択必修1	△	△	△				○					
	スポーツ II	1	実技		選択必修1							○					
	統計学	2	講義		選択必修2						○						
数量的スキル	社会調査法	2	講義		選択必修2							○					
	情報社会論	2	講義		選択必修2							○					
	コンピュータ I	1	演習	1		○	○	○	○								
	コンピュータ II	1	演習	1		○	○	○		○							
社会貢献・職業体験関係	NGO・NPO論	2	講義		選択必修2								○				
	現代社会と企業	2	講義		選択必修2								○				
	地域協力演習	2	演習		選択必修2								○				
	インターンシップ(国内)	2	演習		選択必修2						○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) A※	1	演習		選択必修2						○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) B※	2	演習		選択必修2						○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) C※	3	演習		選択必修2						○	○	○	○	○	○	
	インターンシップ(海外) D※	4	演習		選択必修2						○	○	○	○	○	○	
ボランティア(海外)	2	実技		選択必修2						○	○	○	○	○	○		
グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係	総合英語 I	1	演習	1		○	○	○	○								
	総合英語 II	1	演習	1		○	○	○		○							
	総合英語 III	1	演習	1						○							
	総合英語 IV	1	演習	1							○						
	英語コミュニケーション I	1	演習	1								○					
	英語コミュニケーション II	1	演習	1									○				
	英語コミュニケーション III	1	演習	1										○			
	英語コミュニケーション IV	1	演習	1											○		
	ポルトガル語と文化 I	1	演習		1言語2単位以上					○							
	ポルトガル語と文化 II	1	演習		1言語2単位以上						○						
	スペイン語と文化 I	1	演習		1言語2単位以上						○						
	スペイン語と文化 II	1	演習		1言語2単位以上							○					
	フランス語と文化 I	1	演習		1言語2単位以上							○					
	フランス語と文化 II	1	演習		1言語2単位以上								○				
	中国語と文化 I	1	演習		1言語2単位以上								○				
	中国語と文化 II	1	演習		1言語2単位以上									○			
中国語と文化 III	1	演習		1言語2単位以上										○			
中国語と文化 IV	1	演習		1言語2単位以上											○		
韓国語と文化 I	1	演習		1言語2単位以上											○		
韓国語と文化 II	1	演習		1言語2単位以上												○	
韓国語と文化 III	1	演習		1言語2単位以上												○	
韓国語と文化 IV	1	演習		1言語2単位以上												○	
総合科目	日本国憲法	2	講義		2	○	○					○					
	海外研修 A	2	実習		2							○	○	○	○	○	
	海外研修 B	4	実習		4							○	○	○	○	○	
	基礎演習 I	1	演習	1					○								
基礎演習 II	1	演習	1						○								
総合科目	①他学部履修科目 ②大学間連携科目 ③愛知学長懇話会科目 ④資格認定	6			6												

エクステンション科目については別に定める。
 ※インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。





専門教育科目 教育・保育の専門職養成に関わる知識、子ども理解、保育方法・教育技術を身に付ける。

関連教育科目

発達関係科目

乳幼児期から児童期の発達を軸にし、生涯にわたる心身の発達と健康を見通す力を身に付ける。

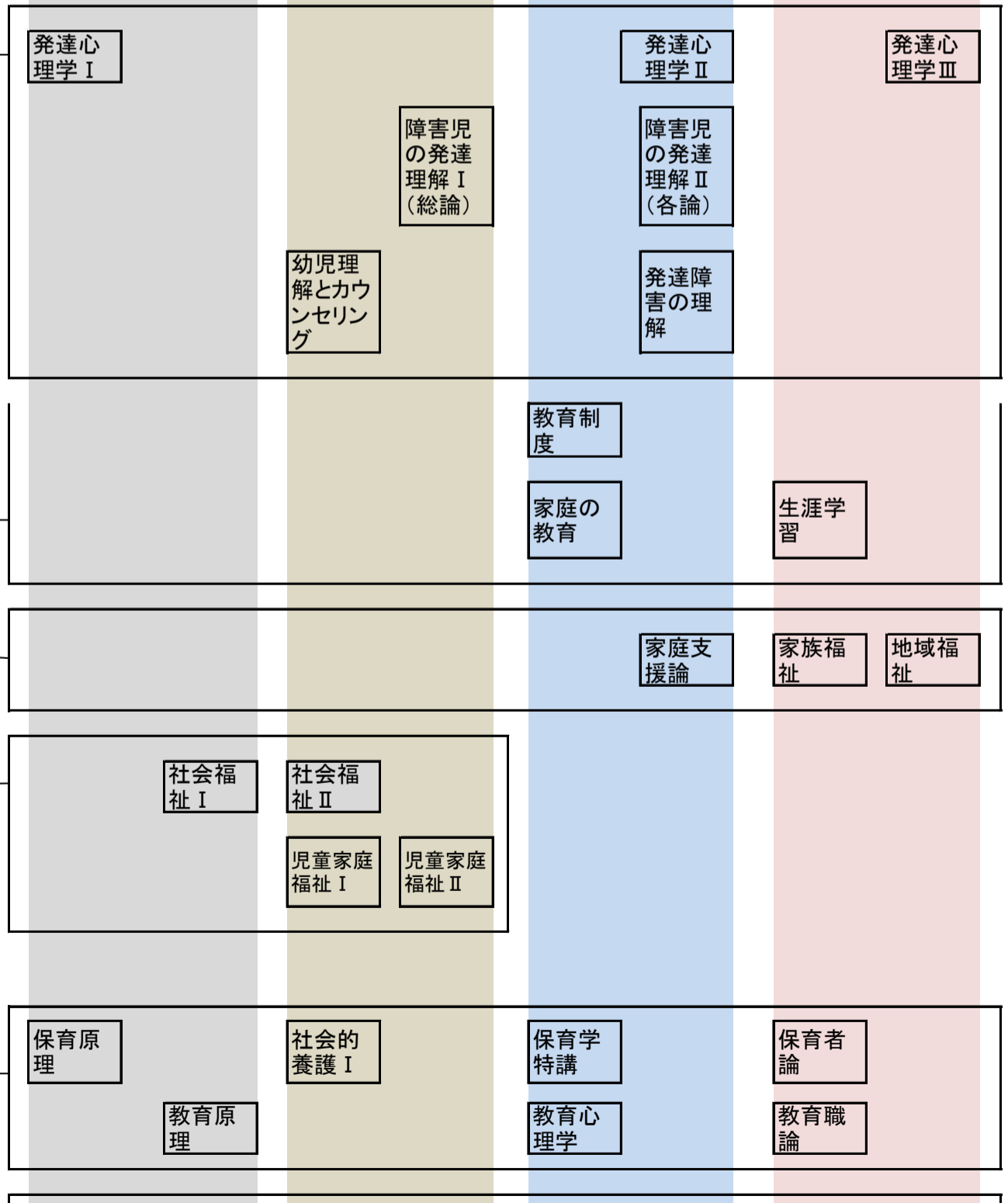
発達環境関係科目

人間の発達環境、とりわけ乳幼児期から児童期の発達環境に関する諸課題を総合的に理解する力を身に付ける。

専攻科目

教育・保育の知識、子ども理解、方法技術の専門性を身に付ける。

教育・保育の基礎および専門職論



教育・保育の内容・方法に関する科目

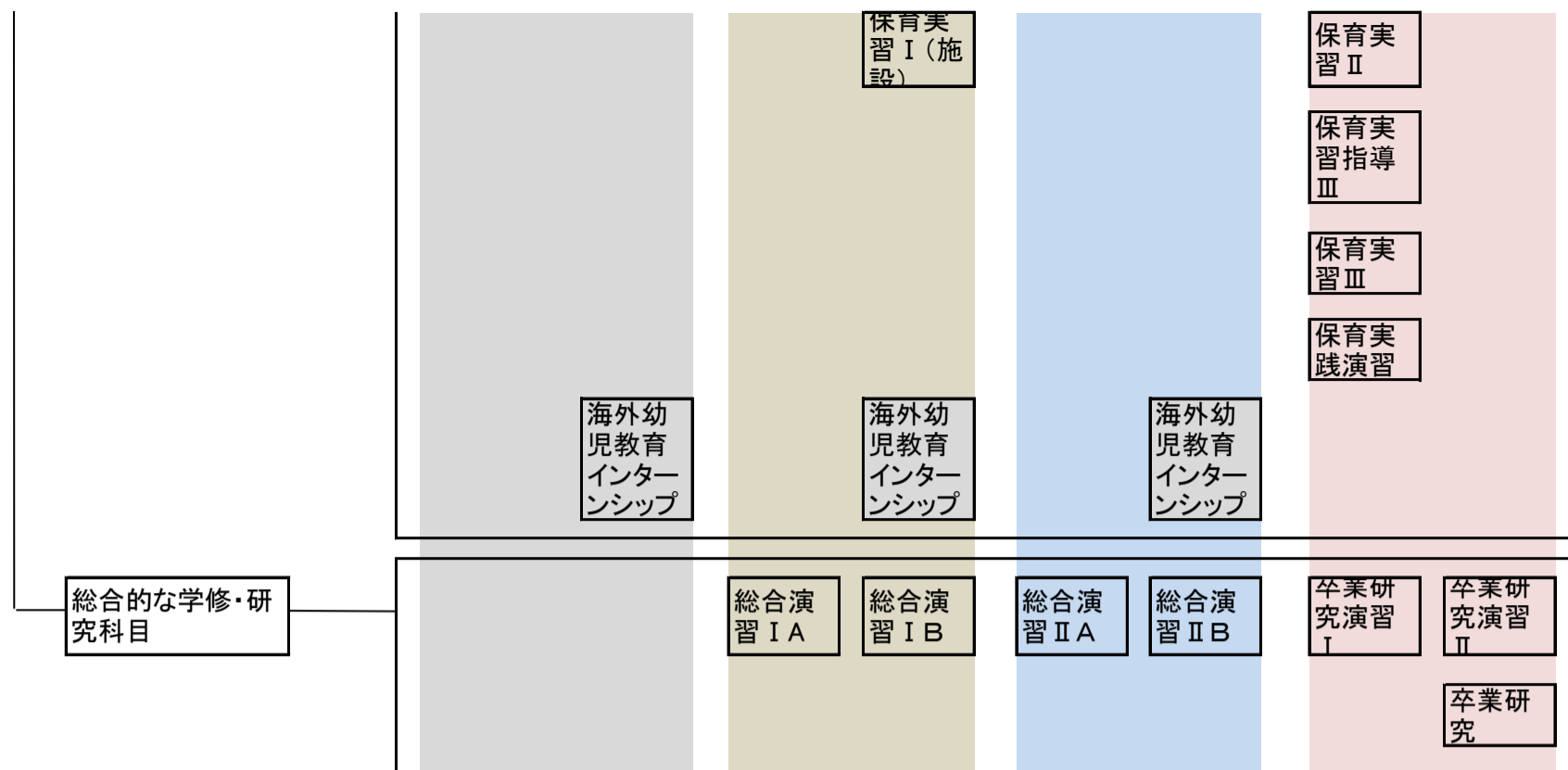
保育内容指導法「生活と健康」	保育内容指導法「生活と健康」		保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」	社会的養護内容 保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」	社会的養護内容 保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」	
保育内容指導法「生活と認識」	保育内容指導法「生活と認識」		保育内容指導法「生活と協同」		保育課程論	保育内容総論
保育内容指導法「生活と言葉」	保育内容指導法「生活と言葉」					
		国語科教育法		算数科教育法	理科教育法	
		社会科教育法		音楽科教育法	家庭科教育法	
		図画工作科教育法		児童英語教育法		
		生活科教育法			体育科教育法	
			教育の方法	教育課程論		
			道徳の指導法		特別支援教育論	
		特別活動の指導法	生徒・進路指導論			

基礎的・専門的知識・技術の形成科目

図画工作A、B	図画工作A、B					
	国語	算数	生活	体育	体育	家庭
	社会	理科				
音楽ⅠA	音楽ⅠA	音楽Ⅱ	音楽Ⅱ	音楽Ⅲ	音楽Ⅲ	
児童文化	児童文化					
子どもの保健ⅠA	子どもの保健ⅠB	子どもの保健Ⅱ		子どもの食と栄養Ⅰ	子どもの食と栄養Ⅱ	
		乳児保育Ⅰ			乳児保育Ⅱ	
				障害児保育		
				教育相談	相談援助	保育相談支援 保育相談支援

体験学習科目

教育実習指導Ⅰ	教育実習Ⅰ			教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ		
				教育実習指導Ⅲ		
		保育実習指導Ⅰ		教育実習Ⅲ		教育実習Ⅲ*小学校志望者 教職実践演習(幼・小)
		保育実習Ⅰ(保育所)				保育実習指導Ⅱ



共通教育科目

教養科目(桜花学)で女性としての生き方を考え、基礎科目と併せて、学び続ける社会人としての基礎力を養う。

教養科目(桜花学)

基礎科目

健康・スポーツ関係

数量的スキル・情報リテラシー関係

社会貢献・職業体験関係

グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係

総合

学士課程1年次
前期 後期

学士課程2年次
前期 後期

学士課程3年次
前期 後期

学士課程4年次
前期 後期

自分を知る 現代社会と女性	社会を知る 生活と経済	自然を知る 環境の科学
女性とジェンダー	地域社会	食と生命の科学
	人間と歴史	
人間を知る 芸術の世界	世界を知る 異文化理解	
文学の世界	日本の文化	
心の探求	国際関係論	
生き方の探求	世界の宗教	

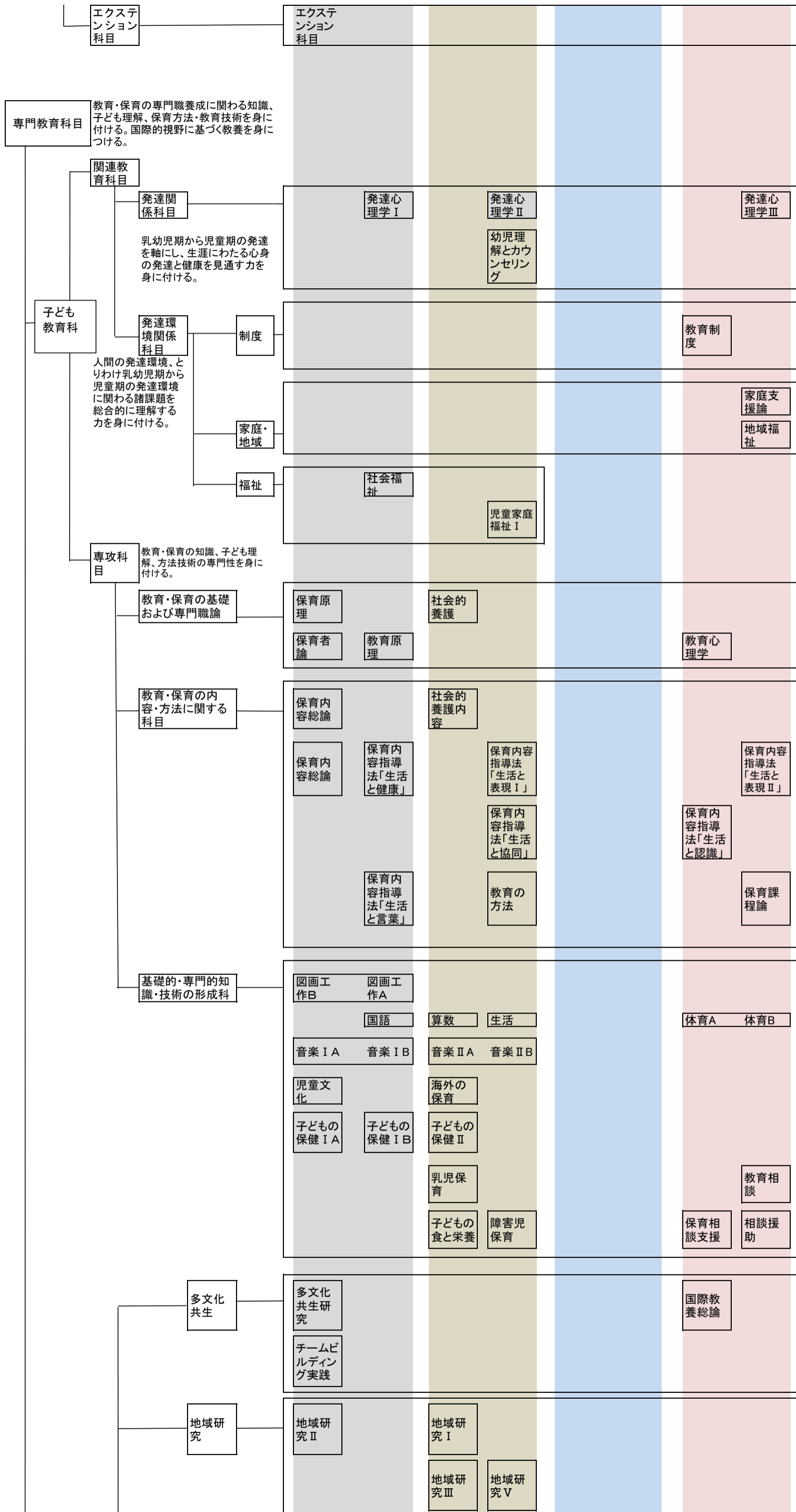
健康・スポーツ関係	スポーツ・健康論	スポーツ I スポーツ II
-----------	----------	-------------------

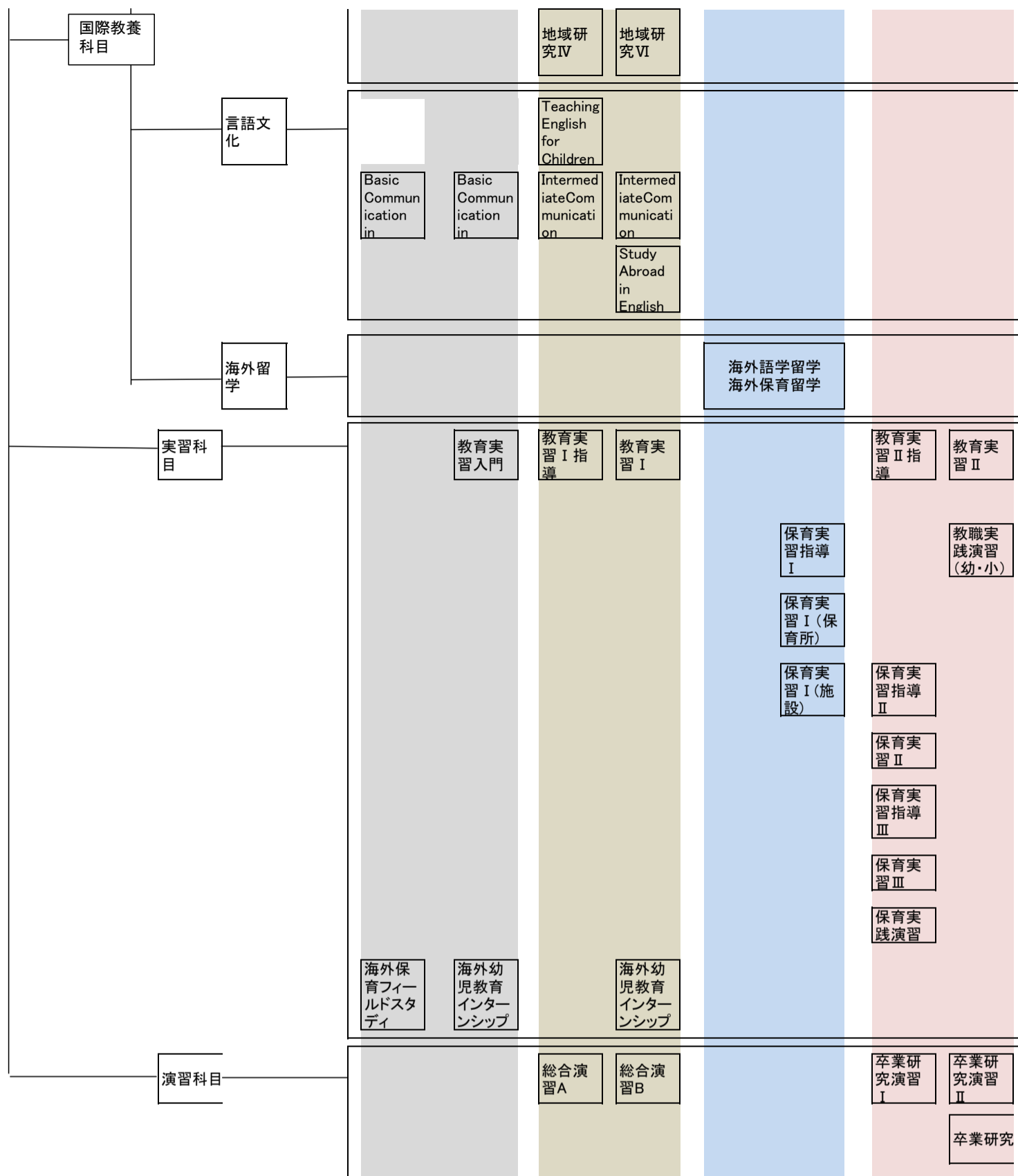
数量的スキル・情報リテラシー関係	コンピューター I コンピューター II	社会調査法 統計学	情報社会論
------------------	-------------------------	--------------	-------

社会貢献・職業体験関係	ボランティア(海外)	インターンシップ(国内)	インターンシップ(海内)	NGO・NPO論 現代社会と企業 地域協力演習
-------------	------------	--------------	--------------	-------------------------------

グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係	総合英語 I ポルトガル語と文化 I スペイン語と文化 I フランス語と文化 I 中国語と文化 I 韓国語と文化 I	総合英語 II ポルトガル語と文化 II スペイン語と文化 II フランス語と文化 II 中国語と文化 II 韓国語と文化 II	総合英語 III 中国語と文化 III 韓国語と文化 III	総合英語 IV 中国語と文化 IV 韓国語と文化 IV	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
---------------------------	---	---	--------------------------------------	-----------------------------------	--

総合	基礎演習 I 基礎演習 II	日本国憲法	海外研修 A 海外研修 B
----	-------------------	-------	------------------





免許状・資格等の取得

I. 幼稚園教諭 1 種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭 1 種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論 スポーツⅠ スポーツⅡ	2 1 1	2
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	1 1	2
情報機器の操作	2	コンピュータⅠ コンピュータⅡ	1 1	2

3. 専門教育科目での履修
 - a. 教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目		科目	単位	
国語（書写を含む）		国語	2	6
生活		生活	2	
音楽		音楽ⅠA 音楽ⅠB 音楽ⅡA 音楽ⅡB 音楽ⅢA 音楽ⅢB	1 1 1 1 1 1	
図画工作		図画工作A 図画工作B	1 1	
体育		体育A 体育B	1 1	
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目		児童文化	2	

b. 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
教職の意義等に関する科目 ※①	2	保育者論	2	2
教育の基礎理論に関する科目 ※②	6	教育原理	2	2
		教育心理学	2	2
		教育制度	2	2

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
教育課程及び指導法に関する科目 ※③	4	保育内容総論	2	2
		保育課程論	2	2
	1 2	保育内容指導法「生活と健康」	2	2
		保育内容指導法「生活と協同」	2	2
		保育内容指導法「生活と言葉」	2	2
		保育内容指導法「生活と認識」	2	2
保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」		2	2	
	保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」	2	2	
	2	教育の方法	2	2
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目 ※④	2	幼児理解とカウンセリング	2	2
	2	教育相談	2	2
教育実習	5	教育実習Ⅱ	1	1
		教育実習指導Ⅱ	1	1
		教育実習Ⅲ	3	3
教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	2

<履修上の付帯要件>

幼稚園教諭の免許状を取得しようとする場合、教育実習について下記の科目についても履修することを本学としては履修上の付帯要件としています。

教育実習	2	教育実習Ⅰ	1	1
		教育実習指導Ⅰ	1	1

*「保育内容の指導法」の単位のうち、半数までは、小学校教諭の免許状の課程の「各教科の指導法」又は「特別活動の指導法」の単位をもってあてることができます。（教育職員免許法施行規則第6条の表、備考16参照）

※免許法施行規則に定める各科目に含める必要事項

※①・教職の意義及び教員の役割

- ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
- ・進路選択に資する各種機会の提供等

※②・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

- ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）

- ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
- ※③・教育課程の意義及び編成の方法
 - ・保育内容の指導法
 - ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用ふくむ。）
- ※④・幼児理解の理論及び方法
 - ・教育相談（カウンセリンに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

c. 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
教科又は教職に関する科目	10	発達心理学Ⅰ	2	10※
		発達心理学Ⅱ	2	
		レクリエーション	2	
		家庭の教育	2	
		生涯学習	2	
		障害児の発達理解(総論)Ⅰ	2	
		障害児の発達理解(各論)Ⅱ	2	
		総合演習ⅠA	1	
		総合演習ⅠB	1	

※「c. 教科又は教職に関する科目」の選択科目又は、最低修得単位数を超えて履修した「a. 教科に関する科目」若しくは「b. 教職に関する科目」について、併せて10単位以上修得してください。

II. 小学校教諭1種免許状の取得

本学で小学校教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修するとともに、「介護等の体験」を行わなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	2
		スポーツⅠ	1	
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

幼稚園教諭1種免許状と共通ですので、重複して履修する必要はありません。

3. 専門教育科目での履修

a. 教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	科目	単位	単位
国語（書写を含む）	国語	2	8
社会	社会	2	
算数	算数	2	
理科	理科	2	
生活	生活	2	
音楽	音楽ⅠA	1	
	音楽ⅠB	1	
	音楽ⅡA	1	
	音楽ⅡB	1	
	音楽ⅢA	1	
	音楽ⅢB	1	
図画工作	図画工作A	1	
	図画工作B	1	
家庭	家庭	2	
体育	体育A	1	
	体育B	1	

*幼稚園教諭1種免許の課程と共通する科目は重複して履修する必要はありません。

b. 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位
教職の意義等に関する科目 ※①	2	教育職論	2
教育の基礎理論に関する科目 ※②	6	教育原理	2
		教育心理学	2
		教育制度	2
教育課程及び指導法に関する科目 ※③	2	教育課程論	2
	2 2	国語科教育法	2
		社会科教育法	2
		算数科教育法	2
		理科教育法	2
		生活科教育法	2
		音楽科教育法	2
		図画工作科教育法	2
		家庭科教育法	2
		体育科教育法	2
		道徳の指導法	2
	特別活動の指導法	2	
2	教育の方法	2	

生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目 ※④	4	生徒・進路指導論 教育相談	2 2	2 2
教育実習	5	教育実習Ⅰ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅲ 教育実習指導Ⅲ	1 1 3 1	1 1 3 1
教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	2

* 幼稚園教諭1種免許の課程と共通する科目は重複して履修する必要はありません。

* 「生活科教育法」の単位は幼稚園教諭の免許状の課程の「保育内容の指導法」の単位をもってあてることができます。（教育職員免許法施行規則第6条の表、備考15参照）

※免許法施行規則に定める各科目に含める必要事項

※①・教職の意義及び教員の役割

- ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
- ・進路選択に資する各種機会の提供等

※②・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

- ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
- ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

※③・教育課程の意義及び編成の方法

- ・各教科の指導法
- ・道徳の指導法
- ・特別活動の指導法
- ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用ふくむ。）

※④・生徒指導の理論及び方法

- ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的知識を含む）の理論及び方法
- ・進路指導の理論及び方法

c. 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
教科又は教職に関する科目	10	発達心理学Ⅰ	2	10※
		発達心理学Ⅲ	2	
		生涯学習	2	
		障害児の発達理解(総論)Ⅰ	2	
		障害児の発達理解(各論)Ⅱ	2	
		特別支援教育論	2	
		総合演習ⅡA	1	
		総合演習ⅡB	1	

※「c. 教科又は教職に関する科目」の選択科目又は、最低修得単位数を超えて履修した「a. 教科に関する科目」若しくは「b. 教職に関する科目」について、併せて10単位以上修得してください。

4、小学校教諭1種免許状を取得する場合、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」及び「同施行規則」の定めるところにより、「介護等の体験」を7日間にわたり行うことが必要となります。

Ⅲ. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（保育士養成所指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

保育士養成所指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目区分	科目	単位	科目	単位	単位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	現代社会と女性	2	2以上
			女性とジェンダー	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
	基礎演習Ⅰ	1			
基礎演習Ⅱ	1				
外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上	
		総合英語Ⅱ	1		
体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2	
体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上	
		スポーツⅡ	1		

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

保育士養成所指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目区分	科目	単位	科目	単位	単位
的に 関する 科目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	児童家庭福祉	2	児童家庭福祉Ⅰ	2	2
	社会福祉	2	社会福祉Ⅰ	2	2
	相談援助	2	相談援助	2	2
	社会的養護	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
解に 関する 科目	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学Ⅰ	2	2
	保育の心理学Ⅱ	2	発達心理学Ⅱ	2	2
	子どもの保健Ⅰ	5	子どもの保健ⅠA	2	2
			子どもの保健ⅠB	2	2
	子どもの保健Ⅱ	2	子どもの保健Ⅱ	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養Ⅰ	2	2
家庭支援論	2	家庭支援論	2	2	
保育の 内容・ 方法の 理解に 関する 科目	保育課程論	2	保育課程論	2	2
	保育内容総論	2	保育内容総論	2	2
	保育内容演習	5	保育内容指導法「生活と健康」	1	1
			保育内容指導法「生活と協同」	1	1
			保育内容指導法「生活と言葉」	1	1
			保育内容指導法「生活と認識」	2	2
			保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」	2	2
	乳児保育	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	障がい児保育	1	障害児保育	2	2
	社会的養護内容	1	社会的養護内容	2	2
保育相談支援	1	保育相談支援	2	2	
保育の表現技術	保育表現技術	4	音楽ⅠA	1	2
			音楽ⅠB	1	

			図画工作A 図画工作B	1 1	2
			体育A 体育B	1 1	2
			児童文化	2	2
保育実習	保育実習 I	4	保育実習 I (保育所)	2	2
			保育実習 I (施設)	2	2
	保育実習指導 I	2	保育実習指導 I	2	2
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

b. 告示別表第2による教科目

保育士養成所指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数 単位
科目区分	単位	科目	単位	
保育の本質・目的に関する科目		社会福祉Ⅱ	2	9以上
		児童家庭福祉Ⅱ	2	
保育の対象の理解に関する科目		発達心理学Ⅲ	2	
		幼児理解とカウンセリング	2	
		発達障害の理解	2	
		家族福祉	2	
		子どもの食と栄養Ⅱ	2	
保育の内容・方法に関する科目	1 5 以上	保育内容指導法「生活と健康」	1	
		保育内容指導法「生活と協同」	1	
		保育内容指導法「生活と言葉」	1	
		保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」	2	
		乳児保育Ⅱ	2	
保育の表現技術		国語	2	
		音楽ⅡA	1	
		音楽ⅡB	1	
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	2 2	
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	1 1	

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目(上記Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ.を確認のこと)を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則(以下「細則」という)を定めています(『履修の手引き』の末尾に掲載)。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』の「保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

Ⅳ. 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状の取得

保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状および小学校教諭専修免許状を取得することが出来ます。

1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
2. 基礎要件 幼稚園教諭Ⅰ種免許または小学校教諭Ⅰ種免許を取得していること。
3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数
教科又は教職に関する科目 24単位以上。

V. 小学校英語指導者資格(J-SHINE)取得

この資格は、民間団体である J-SHINE が発行する、小学校の英語指導者についての資格です。

本学は、この資格取得のための授業を開講できる正規認定校となっています。

カナダでのプログラム実習を含め、指定された以下の科目を履修した上で、各自申請すると資格を取得することが可能です。詳細は、説明会に参加して確認してください。

【受講対象】

保育学部：原則として小学校、または幼稚園免許取得課程を履修する学生

学芸学部：原則として中学校、または高等学校免許（外国語— 英語）課程を履修する学生

【資格取得のための必須授業】

「英語学習と学習指導要領」 2 単位（学芸学部 2 年生前期講義科目）

「J-SHINE 語学実習」 2 単位（学芸学部 2 年生前期集中実習科目）

「児童英語教育法」 2 単位（保育学部 3 年生前期講義科目）

「Applied Linguistics」 2 単位（学芸学部 3 年生前期講義科目）

※それぞれ学部をまたがった履修が可能です。また、上記設定学年以上であれば、上級学年での履修も可能です。

注意事項

このプログラムは、小学校で英語を教える際に、絶対に必要となる資格ではありません。あくまでも、教師としての英語力や英語指導法を磨く上での「学びと経験、その成果（資格取得）」として捉えて下さい。